

競艇場向け ヘルメット乾燥機

【機器の概要】

今回のヘルメット乾燥機は、熱風乾燥という基本設計はそのままに、ヘルメットの表面や内装を傷めない温度を保ちつつ、風を送ることで乾燥を促進するというものです。庫内は単なる棚ではなく、乾燥効率のよい配置とヘルメットの出し入れのしやすさを両立するため、回転式の棚を採用しています。ステンレス製の本体を採用し、ピット付近への設置を可能としました^(※)。



(※雨などのあたる屋外での設置は想定されていません)

【従来機における問題点】

競艇場には、服などを乾燥させるための『乾燥室』がピット内に設置されています。選手の方々は、開催期間中は自身で洗濯した服などをその乾燥室内で乾燥させます。ヘルメットもその中で乾燥させますが、

- ・服などのように脱水したり絞ったりできない
- ・風を通しにくく、置き場所や置き方も制限される

といった条件があるため、乾燥しにくいという問題があります。

【当社機器導入によるソリューション】

乾きにくいヘルメットに対し、専用の乾燥機を使用することで以下のような点が改善されています。

<p>・ヘルメットのみを収納するサイズとし、乾燥空間を小型化</p> <p>ヘルメット専用とすることで、庫内サイズを最適化でき、適切で安定した温調と庫内への送風を可能としました。</p>
<p>・傷みやすいヘルメットに適した温度管理</p> <p>高温に弱いヘルメットの内装や塗装も、マイコンが最適な温度管理を行うことで、傷めることなく乾燥ができます。</p>

【ユーザー様について】

今回導入頂いたユーザー様は、愛知県にある競艇場で、日本で初めてナイトレースが開催され、現在では全てのレースがナイト開催されているところです。それにより、売上でも全国トップクラスの競艇場でもあります。



【豆知識】

競艇用のヘルメットは、1997年に協会所有物の貸与(ジェット型)から選手の個人所有に切り替わり、現在のようなフルフェイス型になりました。